

東京英語専門学校 学校自己評価 報告書

評価対象期間 自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

教育目標

1. 「少人数制と個人個人の能力に応じた指導法」
少人数制で、きめ細かいフォローを実践する。
2. 「TOEIC、TOEFL のスコアアップ」
就職活動、大学・大学院進学に有利な高いスコアを取得する。
3. 「英語関連資格の取得」
英語に特化したカリキュラムで、スキル別能力編成を実施、資格取得をバックアップする。
4. 「就職活動、海外留学、大学・大学院進学等の支援」
専門の担当者が個別対応する。

評価項目の達成及び取り組み状況

評価点数 適切……4 ほぼ適切……3 やや不適切……2 不適切……1

1 教育理念・目的・人材育成像

- ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
評価…4
- ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
評価…4
- ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか
評価…3
- ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

語学力を高めることだけでなく、国際交流も深め、グローバルな人材を育てるという社会のニーズを踏まえて教育目標を立てている。教育理念及び目的を定め人材の育成および英語力の増強に力を入れている。

② 課題と改善策

体験入学等で保護者への周知を心掛けているが、入学を担当する教職員だけでなく、全教職員に引き続き教育理念・目標への理解を深めてもらうようにする。

2 学校運営

- ・目的等に沿った運営方針が策定されているか
評価…4
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
評価…4
- ・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
評価…4
- ・人事、給与に関する規程等は整備されているか
評価…4
- ・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
評価…4
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
評価…4
- ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか
評価…4
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

理事会による学校運営の方針が発表され、理事長（学校長）が承認し、総合事務局長が具体的な方針を職員と共有し、具体化する。学校の運営方針、各教育活動における意思決定、学生指導方針等は、定期的に行っているミーティングにより情報共有している。学生管理情報システムをアップデートし、迅速に学籍、出席、成績の管理がより充実した。

② 課題と改善策

テレビ会議やLINEなどを活用し、時差出勤およびテレワークが、学校運営に支障をきたすことなく、比較的スムーズに実施できるようになった。学生に統一したデバイスを提供できず、通信に関する課題が残る。

3 教育活動

(目標の設定等)

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
評価…4
- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

(教育方法・評価等)

- 評価…4
- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
評価…4
- ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
評価…4
- ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
評価…4
- ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
評価…3
- ・授業評価の実施・評価体制はあるか
評価…4
- ・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか
評価…3
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

(資格試験)

- 評価…4
- ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

(教職員)

- 評価…4
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
評価…4
- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか

評価…4

- ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

評価…3

- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか

評価…3

現状・課題と改善策など

① 現状

個々を重視し、英語を使ったビジネススキルおよびコミュニケーション能力を総合科目および専門科目で、段階的かつ体系的に語学力の増進を図っている。定期的な学生面談により、指導体制や授業評価等を実施し、教務部長が改善に着手している。能力別スキル別編成により、半期ごとにクラスの再編成を実施し、効果をあげている。また、TOEIC等の資格取得やスコアアップを目指したIPテスト受験を義務化しており、クラス編成にも役立てている。また、教職員の能力開発のために研修参加を勧めている。

③ 課題と改善策

オンライン授業により、学習や生活環境で孤立した学生にいち早く気づけるよう、教職員間での連携を深める努力が必要である。そのためには、分散するなど工夫して面談も定期的にも実施する。

4 学修成果

- ・就職率の向上が図られているか

評価…4

- ・資格取得率の向上が図られているか

評価…4

- ・退学率の低減が図られているか

評価…4

- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

評価…3

- ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

評価…3

現状・課題と改善策など

① 現状

就職担当を配置し、企業および学内就職説明会等を実施して求人を増やしている。積極的に、就職に関するセミナーに参加、情報収集を就職相談に生かしている。さらに TOEIC のスコアアップを目指したレベル別クラスを設置して、向上に役立てている。退学率の軽減に関し、留学生の在籍管理は以前にも増して強化しているが、審査厳格化により、不許可数が増えた点を踏まえ、入学選考を見直した。

② 課題と改善策

学生の目的に合わせた少人数または、個別指導を実施している中で、相談しやすい良い環境を維持している。コロナ禍により、出席に指導が必要な学生に焦点が当たる傾向があり、それ以外の学生との面談の機会が少なかった。

5 学生支援

- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
評価…4
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
評価…4
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
評価…4
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
評価…4
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
評価…3
- ・学生の生活環境への支援は行われているか
評価…4
- ・保護者と適切に連携しているか
評価…4
- ・卒業生への支援体制はあるか
評価…4
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
評価…4
- ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 評価…3

- ・関連分野における業界との連携による後の再教育プログラム等を行っているか
評価…3

現状・課題と改善策など

①現状

就職担当を配置し、企業および学内就職説明会や選考会を実施して効果を上げている。積極的に、就職に関するセミナーに参加、情報収集を就職相談に生かしている。定期的な学生面談で個々の進路相談に応じている。学生支援機構の奨学金等について専属の職員を配置して丁寧に資格要件、手続き等をサポートしている。学校独自の減免制度も学生支援の一環として長きにわたり、継続している。学びの継続などコロナ禍で政府からの支援も学生に届くよう支援した。

②課題と改善策

学生のアルバイト調査、低出席者の追跡を定期的に行っているが、担当だけでなく、職員が助け合いながら情報を共有し、さらに迅速に対応できるようにする。LINE を活用するため、学内で研修を行った。

6 教育環境

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
評価…4
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
評価…4
- ・防災に対する体制は整備されているか
評価…4

現状・課題と改善策など

各教室には、DVD だけでなく、英語学習に適した大型モニターが設置されており、Wi-fi も利用できるよう整備した。LIVE な動画等を活用した授業も取り入れている。教材も毎年の学生評価に応じて見直している。今後は、アメリカだけでなく、英語を母国語とする国への海外研修を検討している。災害時の避難場所の周知のほか、非常食と飲料水を備蓄し、定期的に交換している。

7 学生の受入れ募集

- ・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
評価…4
- ・学生募集活動は、適正に行われているか
評価…4
- ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
評価…4
- ・学生納付金は妥当なものとなっているか
評価…4

現状・課題と改善策など

① 現状

ホームページの定期的な改定および学校案内の無料配布、体験入学等で学生及び保護者が納得するまで相談に応じ、情報提供している。入学までに希望者には、複数回、体験入学や個別相談に参加できる仕組みとなっている。創立以来、設置者の意向を受け、当校独自の奨学金に代わり減免制度で、本校に入学を希望する学生およびその家族の財政的負担を軽減しており大変喜ばれている。

② 今後の改善策

体験レッスンで行う本校の体験入学が好評のため、回数を増やすことを検討していたが、例年よりやや少ない回数となった。個別相談会も学校に来なくても参加できるオンラインの会議システムを利用し、入学につながったことは、良かった。

8 財務

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
評価…4
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
評価…4
- ・財務について会計監査が適正に行われているか
評価…4
- ・財務情報公開の体制整備はできているか
評価…4

現状・課題と改善策など

入学者数は、毎年定員を97%以上満たしており、財政基盤は安定している。

収支動向はバランスの取れたもので、銀行・信用金庫からの借入金ゼロ経営を継続して安定している。

決算の会計監査は適正であり、当該税務署の3年置きに行う定期的調査も記帳なども正確で信頼が高く、本校の理事会だけでなく、税務署上層部の評価も、その都度「適正な正直記帳」との定評があると担当調査官から漏れ聞きしている。

9 法令等の遵守

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
評価…4
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
評価…4
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
評価…4
- ・自己評価結果を公開しているか現状・課題・改善策
評価…4

現状・課題と改善策など

各種関係法令については、校内禁煙の厳守や交通法等を遵守しており、コンプライアンス精神の周知徹底に努めている。

個人情報保護についてはホームページ、要項などにも明文化されており、周知と管理を適正に行っている。

学生全員に、STUDENT GUIDEBOOK（日本語・英語の翻訳ガイド）を配布して、周知徹底に努力している。

10 社会貢献・地域貢献

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
評価…3
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
評価…2
- ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
評価…3

現状・課題と改善策など

言語だけでなく、その背景となる異文化事情も学べる英語教育を大切にしている。ボランティア活動を行う学生には、個々の状況に任せている。

緊急時には、地域に学校の施設を提供する準備があり、AED も設置してある。災害時の非常食、飲料水、簡易トイレ、寝袋など防災用具を保管している。

11 国際交流

- ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
評価…4
- ・受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
評価…4
- ・留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整備されているか
評価…4
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
評価…4

現状・課題と改善策など

長きにわたり、海外十数か国からの留学生を受け入れており、輩出した多くの卒業生が母国で、または日本で国際貢献に従事するなど活躍している。VISA 取得のサポートだけでなく、日本での基本的なマナーや生活習慣の指導も欠かさず行っている。日本の大学や海外の大学へ進学する本校の学生にそれぞれの出身国からの教師が学習支援を惜しまずに対応している。